

郡山市議会 志翔会 議会報告 平成29年9月定例会特集

第1回志翔会議会報告会を開催しました。



9月2日、郡山市総合福祉センターにて、120名以上の市民の皆さまにご参加いただき第1回志翔会議会報告会を開催しました。議会報告会では、6月・9月定例会の概要などを中心に報告を行いました。また、その後、正しい歴史教育の普及を進めている埼玉県内の小中学校で教員を勤められた齋藤武夫先生を講師に『「日本が好きになる！歴史授業」入門』と題した講演会を行いました。

会長就任 あいさつ



七海喜久雄

このたび郡山市議会最大会派の会長を仰せつかりました。その責任の重さ、重大さに身が引き締る思いをしております。

元の緑清会、前の創風会と一貫して「市民の皆様がいきいきと輝く未来都市郡山」をめざすことが私達の基本理念であり、その理念は志翔会についても引き継がれております。

併せまして議会審議の透明性、執行機関の監視、政策の提案、分かりやすい開かれた内容と言った本来の議会のあり方についても充分議論しながら市民の皆さんに説明でき、納得できる会派運営に会派全員と協議を重ね市民の皆さんの御意見を賜わりながら親しまれ、信頼される会派を目指して参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

議長就任 あいさつ



佐藤 政喜

味覚の秋、芸術の秋となり皆様には、充実した日々をお過ごしのことと拝察いたします。

9月4日開会の9月定例会において、第29代郡山市議会議長に選出されました佐藤政喜でございます。郡山市の発展と市民福祉の向上のため、しっかりと志を持ち頑張っております。郡山市は県の中心に位置し、交通の要衝でもあり、経済、観光、農業など各分野で県全体をリードする役割を果たさなければなりません。「住んで良かった。」と感じられる魅力ある郡山市として後世に残すため、市民の皆様に分かりやすい開かれた活力ある議会運営に努めて参ります。皆様の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

【平成29年9月定例会概要】 9月補正予算を可決・ 平成28年度決算の認定等 を行いました。

平成29年9月定例会が閉会し、平成28年度決算の認定等、平成29年9月補正予算をはじめ、全ての提案議案を可決しました。このうち9月補正予算については、平成28年度決算に伴う繰越金の計上のほか、懸案事項の早期解決のため、関係機関との調整に進捗が図られた事業などに係る経費や新たな行政課題や道路補修など、市民生活と密接に関係する事業等に対応するための各種経費を計上され、一般会計で21億8,413万1千円の増額、特別会計8億8,245万1千円の増額、総額で30億6,658万2千円の増額となりました。主な事業としては、生活に身近な道路や側溝など生活環境の改善（3億600万円）、「攻めの農業の推進」のための新たな取組みを実施（6,407万円）等となっています。

平成28年度一般会計の決算については、歳入1,729億6,371万円、歳出1,673億2,101万円で、翌年度への繰越充当財源を差し引いた実質収支は39億5,367万円の黒字決算となっております。また、29の特別会計・公営企業会計についても黒字決算となっております。

9月定例会市政一般質問

要旨

財務諸表について

問 現行制度を補充する複式簿記・発生主義会計を導入し、会計別・事業別等の財務諸表を作成する取組みにより、各課別や事業別の成果や分析課題等が明らかになっていくものと思うが、財務諸表を今後どのような形で行政運営に活用していくのか。



馬場 大造

答 今後の財務諸表の活用については、導入の目的のひとつである説明責任の充実を図るため、従来の決算審査資料を補充する参考資料として議会に提出するほか、財務状況に関する公表資料としてウェブサイトに掲載し、市民の皆様と市財政全般及び各種事業の財務情報の共有化等に活用する予定である。

小規模校の給食食材の納入改善について

問 現在給食に使用される食材は学校ごとに手配され、対応業者の確保も相当困難で仕入れ値が給食費に反映し、保護者負担も多くなっていると聞く。近隣の小規模校同士によるメニューの統一や仕入れ先を同一にする

等の工夫をして、現場や保護者の負担軽減を図るべきと考えるが見解は。

答 食材の発注量が少ない児童生徒数が100人以下の自校給食校は、献立に使用する食材の一部を変更するなどして給食食材費の保護者負担軽減を図っている。今後においては、学校の実態や地域の実状を十分把握しながら、学校間の連携による食材の共同調達について働きかけていく。

NPO法人こおりやま空家バンクとの連携について

問 本年1月にNPO法人こおりやま空家バンクが設立された。本市は本年3月に協定を締結し、官民連携による事業展開を推進しているが、現在までの活動成果及び課題は。



山口 信雄

答 協定締結後は、空き家等の所有者等からの相談体制を整備し、6月にNPO法人こおりやま空家バンクのウェブサイト立ち上げ情報の提供に努めている。また、8月上旬の意向調査で空き家バンクの活用を望む289棟の所有者に対し空家バンクの活用を促し、8月末現在で15件の相談が寄せられている。今後も周知方法や相談体制の改善を図り、官民連携のもと、事業を推進していく。



郡山南インター線周辺の開発について

問 郡山南インター線周辺の開発については、地域における大きな課題となっている。先の通常国会において、土地利用を緩和し地域の幅広い新規事業を支援する地域未来投資促進法が成立したが、これによりこの周辺開発の可能性を本市ではどのように捉えているのか。

答 この法律による規制の特例措置は、優良農地の確保を前提として既存の都市計画法や農業振興地域の整備に関する法律との調和を図ることとしていることから、優良農地を含む郡山南インター線周辺地域の開発は非常に難易度が高いものと認識している。しかし、今回の措置は、従来とは異なる考えで産業振興を図る動きもあることから、引き続き国等の動向を注視していく。

認知症施策の推進について

問 本市の認知症施策において、第六次郡山市高齢者福祉計画及び郡山市介護保険事業計画の中で特に力を入れてきた事業や、今後も継続し拡大する事業、新たに盛り込む予定の事業などは。



佐藤 徹哉

答 平成26年9月に「2025年問題対策本部」を設置し、平成27年度には「認知症地域支援推進員」を地域包括支援センターに配置し、「認

コラム column

9月定例会請願についての志翔会の方針について

(1) 請願第54号「郡山市の魚に鯉を認定すること。郡山市が鯉の日を制定すること。」

9月19日の本会議において請願第54号「郡山市の魚に鯉を認定すること。郡山市が鯉の日を制定すること。」は不採択となりました。

本市は、市町村別鯉生産量で全国第1位であり、また、本市の鯉の認知度アップに関し、請願者を含め関係者が尽力しており、この請願の主旨には大いに理解するところだ。

しかし、現状を考えると、鯉の認知度は地域や世代によって大きくばらつきがあり、また、様々な意見や考えを持っている市民の方々が存在する事も事実だ。

したがって、郡山の将来を担う若者・子育て世代を中心に機運の高まりを見据えた後、改めて検討すべきであり、志翔会は、この請願について時期尚早ということで反対いたしました。志翔会では、市民の皆さまに鯉に関する関心や周知を図り、鯉のブランド形成について、一層の議論を重ねてまいります。



市役所食堂で期間限定で提供された「恋する鯉丼」

(2) 請願第55号「郡山市内 小中学校の給食費の無償化を求める請願」

9月19日の本会議において請願第55号「郡山市内 小中学校の給食費の無償化を求める請願」を採択しました。

請願が採択されたことにより、学校給食費がすぐに無償化にはなりません。この請願を市当局に送付し、次回12月定例会において回答を得ることになります。

この請願の実現には安定した財政確保の問題があります。本市の場合、現在小中学生の給食費は、年間約12～13億円ほどですが、そのうち10億円ほどが市の負担です。

しかし、この施策は、子どもの貧困対策のほか、人口減少・少子高齢化にも資する施策でもあります。したがって、志翔会は、次世代を担う子どもたちの健全な育成にもっと手厚く取り組むべきという考え方で、この請願に対し賛成いたしました。

今後も志翔会では、市民の皆さまのご意見も伺いながら、教育施策の全体の中で建設的な提言ができればと考えています。



ため池の除染について

現在、荒池と酒蓋池で浚渫工法による除染が行われています。

浚渫とは泥・土を吸引除去する工法で、底泥を乱すことなく、放射性物質を除去することができます。台船で吸引された泥・土は脱水プラントに圧送され、脱水処理の済んだ除去土壌はフレコンバックに詰め替えられ、中間貯蔵施設に搬出されます。

荒池、酒蓋池の浚渫工事は本年10月末ごろ完了予定で、今後は除染の対象となっている芳賀池、土布池1号、土布池2号で除染が行われます。

志翔会は、今後とも引き続き震災からの復興の加速化と市民の皆さまが安心して住める環境の実現に向けて市当局と協力して進めて参ります。



知症初期集中支援チーム」を専門的な医療機関3か所に設置し、相談支援体制を整備している。また、「認知症サポーター養成講座」を積極的に開催し、本年8月末までに24,311名がサポーターの養成等をした。今後は医療機関や介護関係事業所等とのネットワーク構築をすすめ、住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会システムの構築に向け、各種施策を実施していく。

高齢者も楽しめるスポーツ施設の整備について

問 現在、石筵ふれあい牧場にターゲットバードゴルフ場の整備はされているが、冬場の利用は難しく、限られた期間しか利用出来ない。気軽に身近な場所で利用できるように、ターゲットバードゴルフ場及びパークゴルフ場の整備が必要と考えるが見解は。

答 専用施設を設置する場合、広大な敷地の確保の他、芝生等の維持管理も含め多額の経費が必要となる。新たな施設の整備については今年度策定する公共施設等総合管理計画個別計画における、既存スポーツ施設の今後の在り方との整合を図り、整備の必要性について引き続き検討していく。



地域包括ケアシステムの中核となる各地区協議体づくりについて

問 地域包括ケアシステムにおいて、「(仮称)郡山市幸せな地域(まち)づくりプロジェクト」として体制づくりに取り組んでいるが、現時点で協議体づくり等がどこまで進んでいるのか。また、支部社協を中心にネットワークが形成されている地域を協議体構成のモデル地域として取り上げて、協議体構築のノウハウを築いては。



川前 光徳

答 本市では、市全域を対象とする第1層協議体を本年3月に設置し、4月に第1層生活支援コーディネーターを郡山市社会福祉協議会に委託し配置するとともに、5月に第1層協議会の第1回目の会議を開催し、多様な高齢者ニーズなどへの対応の検討を進めて

いる。モデル地区の選定については、第1層生活支援コーディネーターの調査結果等を踏まえ、地域の活動実態等を勘案しながら検討を進めていく。

市長選挙時の証紙の貼られていないビラの配布について

問 先の市長選挙の後半戦、西田地区で品川市長のビラが証紙の貼られていない状態でポスティングされたが、選挙管理委員会ではどのような対応を取ったのか、また、本件の品川市長の認識を伺う。

答 選挙管理委員会では、現状確認ができない事案だったので、捜査権のある警察に即時、情報内容を連絡し、公正な選挙の執行に努めた。市長の認識については、係る事案はその任にある選挙管理委員会、あるいは司法当局の判断に委ねるべきものと認識している。

観光地での利用者のマナー向上に向けた取り組みについて

問 各観光施設やレクリエーション施設において、利用者のマナーに関する問題をよく耳にする。例えば、ゴミの置き去り、植え込みに捨てられた空き缶の数々、時には子ども用の紙オムツが見つかる事もある。利用者のマナー向上に向けた取り組み等は行われているのか。



塩田 義智

答 まち全体がおもてなしの心を持ち、来訪者が快適に過ごせるよう、市民や事業者はもとより、観光客や施設利用者に対し「ゴミの持ち帰り」や「迷惑行為の禁止」などの看板設置を行うなど各観光地の利用実態に応じマナー向上に努めてきた。今後においても、ウェブサイトなどICTを積極的に活用し、観光客や施設利用者のマナー向上の啓発に取り組んでいく。



有害鳥獣被害対策について

問 捕獲隊のイノシシ捕獲後の処分に係る労力軽減のため、捕獲された有害鳥獣の処理方法について、現在の埋設以外の処理施設の導入について検討していただきたいと考え

るが見解は。

答 埋設以外の処理方法として、専用焼却炉や微生物処理等の調査を行っているが、施設整備には建設や維持管理にかかる費用負担が多額となること、また微生物処理には残さ処分や臭い等があり、これらの課題解決が必要となる。今後においても、有害鳥獣被害対策として最適となる処理方法について研究していく。

郡山市消防団あり方検討会について

問 消防団員の確保と地域の防災力向上を目指し、若手消防団員や有識者で構成する「郡山市消防団あり方検討会」を設置し、消防団活動の現状及び課題等を把握し団員の処遇改善や装備の充実を含め広く団員の確保等について検討するということだが、現在当該検討会でどのような検討がなされ、今後その検討をどのように反映していく考えなのか。



諸越 裕

答 全国の先進事例紹介や協議等を行うなど、これまでに計3回の検討会を開催し団員の確保方策、処遇改善、消防装備の充実などを検討課題として意見交換を行い、団員確保に向けたOBの活用やPR活動の強化に関する意見などが出されている。今後は団員確保のための取り組みや装備充実計画の策定などに反映し、地域消防力の一層の充実を図っていく。

市道大町大槻線の進捗状況について

問 市道大町大槻線の道路整備について、現在の進捗状況と今後の見通しについては。

答 本路線の整備状況は、平成25年度より郡山消防署大槻基幹分署から西側の未整備区間、延長約650mの道路事業に着手し、平成28年度末の進捗率は、事業費ベースで約29%で用地等関係権利者42名中27名の方に御協力を頂いた。また、本年度については、約80mの道路工事と用地買収及び物件補償を予定し、平成32年度の完成を目指し、県との調整や関係権利者の協力等について、市長自身の重要関心事項の1つとして、道路整備を進めていく。



写真で見ると志翔会

自殺予防キャンペーン

9月10日世界自殺予防デーの翌日の11日早朝郡山駅前にて、保健所職員、郡山理容組合有志などを中心に自殺予防キャンペーンを実施し、市議会議員有志として志翔会の議員も参加しました。



みらいシティ

9月23・24日の2日間、開成山公園自由広場にて郡山青年会議所主催の職業体験型青少年育成事業「第2回こおりやま☆みらいシティ」～チャレンジ！みんなで夢を描こう！！キッズJOBタウン～が行われ、志翔会も「政治家」の職業紹介で参加しました。200名を超える子ども達一人ひとりと郡山の将来や夢について語り合う貴重な機会を得ました。子ども達から給食や教育環境等について頂いた提案も市政に反映させて参りたいと思います。



市民の皆さまとともに、市政に新風を。



後列左から 森合 秀行、山口 信雄、大木 進、川前 光徳、諸越 裕、佐藤 徹哉、佐藤 栄作、馬場 大造
前列左から 大内 嘉明、高橋 隆夫、鈴木 祐治、七海喜久雄、佐藤 政喜、近内 利男、塩田 義智、久野 三男

今後の抱負

高橋 隆夫 ●当選6回 ●志翔会顧問
たかはし たかお ●所属/環境経済常任委員会 ●連絡先/〒963-8071 富久山町久保田字久保田4番地 TEL.024-933-8311

人生50年から80年が変わっている。この長命の変化に、行政の制度及び社会の対応に変化がないため、右往左往しているのが現状。これを何とかしよう。

大内 嘉明 ●当選5回 ●志翔会顧問
おおうち よしあき ●所属/文教福祉常任委員会 ●連絡先/〒963-0546 喜久田町早稲原字弥五郎15 TEL.024-959-2319

復興から創生へと待たなしの取り組みが進展する中、市政の原点は市民の皆様の日々の暮らしに密着した問題解決にあると感じております。今後の議員活動に全力で取り組んで参ります。

鈴木 祐治 ●当選5回 ●志翔会顧問
すずき ゆうじ ●所属/文教福祉常任委員会 ●連絡先/〒963-1154 田村町岩作字小人町99番地 TEL.024-955-2172

副議長職におきましては市民の方々に大変お世話になりました。5期目の折り返しです。後半におきましては1期目からを振り返りながら議員活動して参ります。

七海喜久雄 ●当選4回 ●志翔会会長
ななうみ きくお ●所属/総務財政常任委員会 ●連絡先/〒963-0837 中田町駒板字南115番地 TEL.024-922-9587

市民の皆様の代弁者としての基本を忘れず、これからもきめ細かな要望、お声を市政に反映させて行きたいと思っております。

佐藤 政喜 ●当選3回 ●所属/市議会議長
さとう まさき ●連絡先/〒963-0201 大槻町字中ノ平55番地 TEL.024-951-2316

初心を忘れる事なく、「市民のために」、「郡山市の未来のために」を旗印に、市民目線に立った開かれた分かりやすい議会運営に努めて参ります。

久野 三男 ●当選3回 ●志翔会政務調査会長
ひさの みつお ●所属/総務財政常任委員会委員長 議会運営委員会 ●連絡先/〒963-8811 方八町一丁目3番11号 TEL.024-943-3200

新しい会派として、市民の生活を守り、常に災害に強いまちづくりに努める。また、未来の魅力ある郡山を創造するために、子どもたちが元気に遊び学べる社会にして行く。

近内 利男 ●当選3回 ●志翔会副会長
こんない としお ●所属/環境経済常任委員会委員長 議会運営委員会 ●連絡先/〒963-0702 緑ヶ丘東二丁目4番地の8 TEL.024-942-7967

北極・南極・グリーンランドの氷の融解、海面の水位上昇、水没する国家と、地球規模の課題に、環境経済常任委員会委員長という要職で臨んで参ります。

諸越 裕 ●当選3回 ●所属/市監査委員 建設水道委員会 ●連絡先/〒963-0201 大槻町字殿町35番地 TEL.024-952-4258

今から10年前皆様の御支援により当選させていただきました。当時の市政に対する思いを改めて感じているところであります。「初心忘れるべからず」で邁進します。

塩田 義智 ●当選3回 ●志翔会副会長
しおた よしとも ●所属/総務財政常任委員会 議会運営委員会 ●連絡先/〒963-0121 三穂田町川田字小樋41番地 TEL.024-945-2015

会長、議長を機軸に、志翔会の結束を深め、郡山市議会新時代に向け、行政＝議会＝市民との公平公正をさらに深め、市民の志翔会へと歩んで参ります。

川前 光徳 ●当選2回 ●志翔会幹事長
かわまえ みつなり ●所属/総務財政常任委員会委員 議会運営委員会委員長 ●連絡先/〒963-8877 堂前町12番6号 TEL.024-922-5265

後半2年間は、会派幹事長と議会運営委員会委員長を務めさせていただきます。この2年間で会派としての郡山未来ビジョンを作りたいと考えています。

佐藤 徹哉 ●当選2回 ●志翔会事務局長
さとう てつや ●所属/文教福祉常任委員会委員長 議会運営委員会 ●連絡先/〒963-8862 菜根一丁目11番11号503 TEL.024-934-2585

2期目の後期は、所属する文教福祉常任委員会委員長を務めることになりました。役職に恥じぬよう志高く、初心を忘れず議員活動に取り組めます。

大木 進 ●当選1回 ●所属/文教福祉常任委員会
おおき すずむ ●連絡先/〒963-0551 喜久田町字赤沼向4番地の133 TEL.024-951-7290

市政は市民の幸せを守るシステムである。私はその幸せを常に探求し、実現化へ向けて様々な課題に取り組み努力する仕事人である。全力で働いて参ります。

山口 信雄 ●当選1回 ●志翔会会派会計担当
やまぐち のぶお ●所属/総務財政常任委員会副委員長 議会運営委員会 ●連絡先/〒963-0111 安積町荒井字南千保1番地 TEL.024-945-2183

新たな委員会や役職に就き任期の後半がスタートしましたが、これからも常に市民目線で本市における様々な課題解決に向け、しっかり取り組んで参ります。

佐藤 栄作 ●当選1回 ●志翔会政務活動費担当
さとう えいさく ●所属/建設水道常任委員会副委員長 ●連絡先/〒963-8047 富田東一丁目146番地 TEL.024-932-2780

郡山の更なる発展に向けた取組み(政策)を推し進めるとともに、建設水道常任委員会副委員長として、市民の為の開かれた委員会運営に努めて参ります。

森合 秀行 ●当選1回 ●志翔会広報担当
もりあい ひでゆき ●所属/環境経済常任委員会 議会だより編集委員会委員長 ●連絡先/〒963-0111 安積町荒井字北巳六段13番地の1 1号 TEL.024-953-7885

志翔会広報担当・議会だより編集委員会委員長として、市政の見える化を促進し、市民の皆様に関心を持っていただけるように日々努力して参ります。

馬場 大造 ●当選1回 ●所属/建設水道常任委員会
ばば だいぞう ●連絡先/〒963-1151 田村町金沢字大久保64番地 TEL.024-953-5976

9月の定例会ではじめての一般質問をさせていただきました。安心のまち、郡山を実現するために、市民の皆様の声をしっかり市政に届け、頑張ります。

編集後記

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、彼岸も過ぎ、日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。秋は、米をはじめとする農作物の収穫時期である「実りの秋」ですが、我々志翔会としましても、市民の代表として「実り多き」議会運営に努めて参る所存でございますので今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。(佐藤栄作)

志翔会だより ■発行責任者：七海喜久雄 ■編集委員：佐藤 徹哉 大木 進 山口 信雄 佐藤 栄作 森合 秀行 (編集責任者)

http://www.shishoukai.jp/ 市政に関するお問い合わせ・ご意見は 郡山市朝日 1-23-7 志翔会 ☎ 924-2502 へ